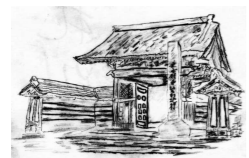


## 各別院の大門

北海道には旭川を含めて別院が六カ寺あります。各別院の大門は、どんな形で大きさはどのくらいなのか、比較してみましょう。



### 札幌別院

間口…十九尺 (5.757m) 奥行…十六尺六寸 (5.029m)  
8.757坪 (28.95㎡)

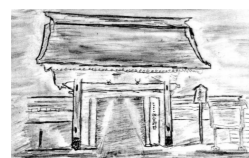
画:横井よ



### 函館別院

資料が間に合いませんでした。

画:横井よ



### 根室別院

間口…十五尺 (4.545m) 奥行…十二尺 (3.636m)  
4.99坪 (16.52㎡)

画:横井よ



### 江差別院

間口…十二尺 (3.636m) 奥行…七尺四寸 (2.242m)  
2.46坪 (8.15㎡)

画:横井よ



### 旭川別院

間口…十九尺強 (5.840m) 奥行…十六尺強 (5.040m)  
8.9坪 (29.43㎡)

画:横井よ

NO PHOTO

### 帯広別院

帯広別院には大門はありません。

※高さでの比較は「屋根の角度・高さ」「柱の高さ」によって全て異なってしまふので、比較する基準を【間口(桁行)と奥行(梁間)の広さ(坪数)】で表記しました。

平成22年3月1日制作 調査委員:草部・垣原・横井よ・高橋

# 別院しらべ隊

## 調査報告書No.3 大門の現状

### 花輪喜久藏の苦勞話

彼が気仙大工界の巨匠になるまでには、多くの苦勞があった。十歳の時、綾里村の佐藤菊之丞の弟子となり日光東照宮などで見いをした後、山形県の仏師佐藤太助に弟子入りし、仏壇彫刻を修した。優秀な技術を身につけた彼は、建築請負業を志す。そして高尋常高等小学校(陸前高田市高田町)を請け負ったが、事件がこる。新築落成式を近日に迎えるばかりの矢先、火災で全焼したのった。契約期間内に竣工出来なかった彼は解約され、大きな負債出し、雇っていた職人達に支払いが出来なくなった。怒った職人達彼を簀巻きにし、川に放り込んだそうだ。

家も家族も捨て、新天地を目指し北海道札幌市に一人移住した毎日、他人の仕事現場での下働き。建築中の札幌農学校の現で働いたこともあるという。

次第に地歩を固め、建築請負業の道を再び進み出した。文明化の波が北海道の建築業界に大きな影響を与える中、製図が来、緻密な施工を行う花輪組の名声が徐々にあがっていった。

彼は、成功したい一心で頑張ってきたが、仕事を奪われたと恨むも出てきた。作業開始のために昇った足場の縄が切れ、四メートル下の地面に落下、瀕死の重傷を負った。縄が切れた原因は、何者が縄に鋸で切り目を入れたためであった。明らかに、恨みをもつ者のがらせである。瀕死の重傷を負い、恨まれても、気仙大工界から姿消さなかったのは「生涯百か所の堂宮建立」の悲願を掲げていたかであろう。

